

Windows Live ムービーメーカー

使用の手引き

清泉女子大学
情報環境センター

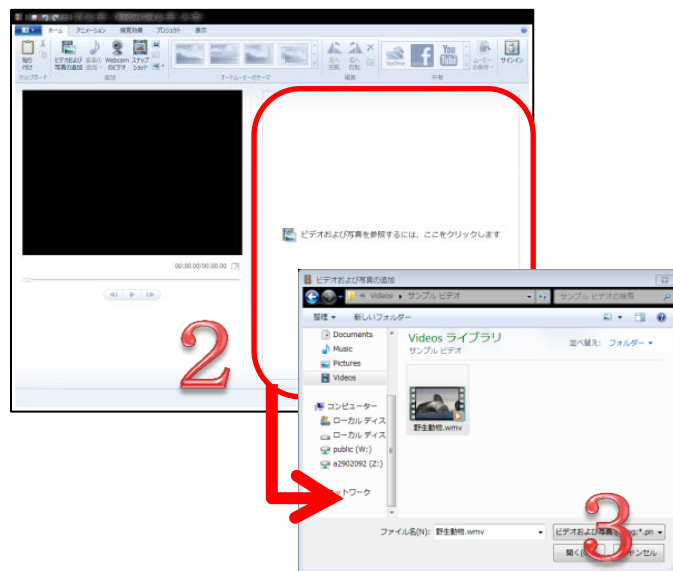
2012.1.19

はじめに（起動から編集用動画取り込みまで）	1
《動画ファイルの読み込み》	1
《ビデオカメラからの取り込み》	1
編集（トリミング、アニメーション効果、静止画の挿入、タイトル、BGM の付け方）	2
《動画を分割する》	2
《アニメーション効果を挿入する》	2
《静止画を挿入する》	3
《BGM を挿入する》	3
《タイトルを挿入する》	4
おわりに（編集を終えたプロジェクトを動画として書き出す、DVD の選び方）	4
《動画にする（=エンコード）・DVD にする》	4
《DVD の選び方》	5
<用語集>	6

はじめに（起動から編集用動画取り込みまで）

《動画ファイルの読み込み》

1. Windows Live ムービーメーカーを起動します。
2. 画面右のボックス内をクリックします。
3. 編集したい動画を選び、「開く」を選択します。
4. 2のボックスのところに取り込んだ動画が表示されていることを確認してください。



《ビデオカメラからの取り込み》

ビデオカメラで撮影した動画をPCに取り込む場合は、DV端子を備えたビデオカメラとPCをDVケーブルで接続してください。（DV端子はIEEE1394端子とも呼ばれます。）

〈DV端子について〉

メリット→USBのようにPC側にドライバソフトウェアをインストールする必要がなく、端子さえあれば、どのようなカメラでもPCと接続して動画を取り込むことができます。

デメリット→DV端子を備えたPCやビデオカメラが年々減少してきていることです。

※情報環境センターではDV端子を備えたビデオカメラとPCが準備されていますので、情報環境センターにて一時的に動画を取り込むことが可能です。

※ハードディスクに録画するタイプのビデオカメラの取り込みなど、やり方がわからない場合は情報環境センター（1号館1階）までお問い合わせ下さい。

編集（トリミング、アニメーション効果、静止画の挿入、タイトル、BGMの付け方）

《動画を分割する》

動画のはじめやおわりの余分な部分を切り取ったり、動画の途中の不必要な部分を切り取って前後を繋げます。

1. 「編集」タブを選択します。


2. 左下の  を使い、

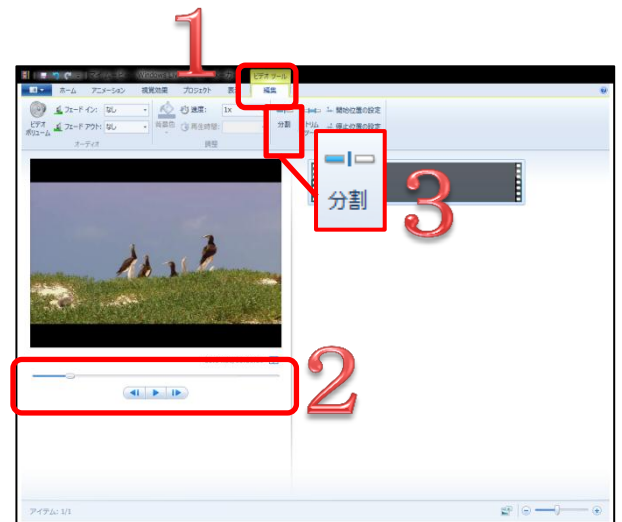
動画を切りたいところで一時停止します。

3. 上の「分割」を押し、動画を切り離します。

4. 切り離した動画が必要ない場合は、必要ない箇所を選択し、「Delete」キーで削除します。

※誤って必要な場面を削除してしまった場合は

「」戻るボタンで戻ります。

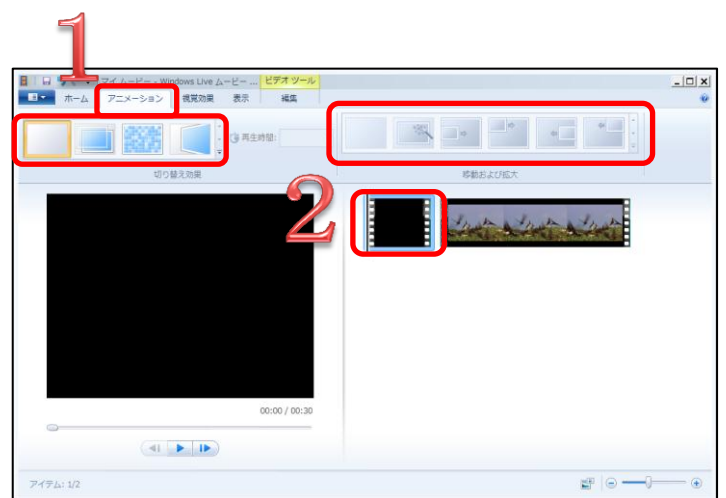


《アニメーション効果を挿入する》

動画のはじまりや切り取った動画のつなぎ目にアニメーション効果を挿入します。

1. 「アニメーション」タブを選択します。

2. アニメーションを挿入したい動画をクリックし（はじめにつけたい場合は1つ目の動画・つなぎ目につけたい場合は後ろの動画など）「切り替え効果」などで好みのアニメーションを設定します。 ※他にも選択した動画全体にアニメーションをつける「移動と拡大」や、「視覚効果」タブの「特殊効果」では映像の視覚効果を変更することができます。



《静止画を挿入する》

動画のつなぎ目などに写真などの静止画を挿入します。

1. 「ホーム」タブにある「ビデオおよび写真の追加」をクリックします。
2. 挿入したい静止画を選択し、「開く」を押すと動画の一番後ろに静止画が挿入されます。
3. 静止画をドラッグすることによって、はじめや動画のつなぎ目などに静止画を移動することができます。



《BGM を挿入する》

動画に BGM を挿入します。

1. 「ホーム」タブにある「音楽の追加」をクリックします。
※「♪」マークを押すと動画のはじめから音楽が挿入され、「▼」を押すと、「音楽の追加（動画のはじめから）」と、「現在の位置に音楽を追加」が選べます。
2. 挿入したい BGM を選択し、「開く」を押すと音挿入されます。
3. BGM の編集（分割など）は挿入した BGM をクリックすると上に出てくる「音楽ツール」タブの「オプション」で行えます。
※分割の方法は p.2 の《動画を分割する》と同じです。

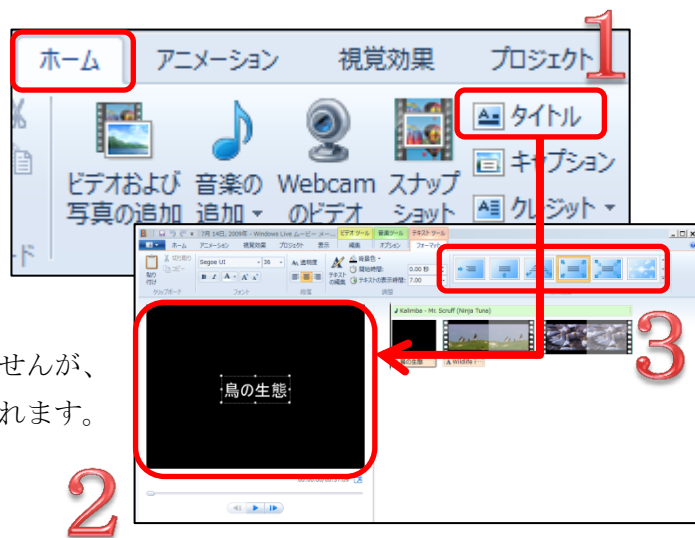


《タイトルを挿入する》

動画のはじめや中、終わりなどにタイトルテロップを挿入します。

1. 「ホーム」タブにある「タイトル」をクリックします。
2. 左側画面に入力ボックスが現れるので、任意のタイトルを入力します。
3. 右側の「特殊効果」の中から好きなアニメーションを選びます。


※タイトル入力後、動画の頭ではタイトルが表示されませんが、再生するとアニメーションに従ってタイトルが表示されます。



おわりに（編集を終えたプロジェクトを動画として書き出す、DVDの選び方）

《動画にする（=エンコード）・DVDにする》

エンコードをして、作成したプロジェクトを一つの動画として書き出します。

1. 左上の  をクリックします。
2. 「ムービーの保存」をクリックします。
3. DVDにする場合は「コンピューター用」「DVDへの書き込み」など設定したい画質に合わせて選択します。
4. 「ムービーの保存」が出てくるので、任意の場所（「マイドキュメント」や「デスクトップ」など）にムービーを保存します。（ファイルサイズによって異なりますが、少し時間が掛かります）

※大学のPCで「マイムービー」には保存しないようにしてください。ファイルサイズが膨大な為、ネットワークに多大な負荷がかかります。

必ずPC本体のローカルドライブ（Dドライブなど）に保存しましょう。



【「DVD への書き込み」を選択した場合】 ※この場合は空の DVD を挿入してください

5. 保存が終わると自動的に「Windows DVD メーカー」が起動します。
6. 保存した動画が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
7. 「メニューのスタイル」から任意のデザインを選び、「書き込み」をクリックします。
8. 書き込みが開始されます。(サイズによって処理の時間が異なります)

[Windows DVD メーカー]



《DVD の選び方》

- ・「DVD-R」が一般的です。(「DVD-RW」などは互換性が低いので選ばないようにしてください)
- ・「録画用 DVD」は地デジなどを録画するためのコピー防止技術が施されているために、少し値段が高いため「PC データ用 DVD」で構いません。

不明点などございましたらお気軽に情報環境センター（1号館1階）までお越しください。

<用語集>

● DV 端子

DV 規格のデジタルビデオ機器と外部機器を接続する端子の規格。IEEE 1394 に準拠した端子で、DV 機器同士をつないで劣化の起きないデジタル方式のダビングを行ったり、デジタルビデオカメラをパソコンに接続して映像を転送したり、パソコンから機器を制御したりすることができる。転送速度は 25Mbps。

● トリミング

刈り込む(こと)、切り取る(こと)、整頓(する)、仕上げ(る)、などの意味を持つ英単語。端から一定の割合を削って小さくする操作などのことを意味する。

写真などの画像データでは、不要な周縁部を排除するために一部を切り出す操作のことを指す。映像データの場合は縦横比の調整のために上下あるいは左右を一定の割合で切り落とす操作のこと。

プログラミングでは、文字列データの先頭や末尾に含まれる空白文字を削除する操作のことをトリミングという。

● エンコード

情報を一定の規則に従ってデータに置き換えて記録すること。また、ある形式のデータを一定の規則に基づいて別の形式のデータに変換すること。データ圧縮や暗号化などもこれに含まれる。

● DVD-R

一度だけ書き込みが行える追記型 DVD。DVD-ROM や DVD-RAM など他の DVD 規格とも互換性がある。1997 年 4 月に策定されたバージョン 1.0 規格では、記憶容量は片面 3.95GB、両面で 7.9GB となっており、DVD-ROM よりも少ない。バージョン 2.0 規格では DVD-ROM と同等の片面 4.7GB 記録が可能になっている。

● DVD-RW

DVD フォーラムが規格化した、書き換え可能型 DVD の規格。DVD フォーラムは同じく書き換え可能型 DVD 規格として DVD-RAM を用意しているが、DVD-RAM がデータ記録用として用意されたのに対し、DVD-RW は映像記録用途にフォーカスしている。DVD-RW 規格は DVD-R for General と互換性が高く、レーザーの反射率などごく一部を除き、DVD-R と同等の性能を持つ。ただし、レーザー反射率が低いことが原因となって再生が不可能になる DVD-ROM ドライブもあるため、DVD-ROM ドライブでの再生互換性は DVD-R に多少劣る。最大記録容量は DVD-R と同じ 4.7GB(DVD-R のような 3.95GB 版は存在しない)。なお、DVD+RW Alliance が推進する DVD+RW とはまったく互換性を持たない。

● WMA

Microsoft 社が開発した音声圧縮方式。同社の Windows などに搭載されているマルチメディア技術「Windows Media」を構成する技術の一つで、同社製品の標準の音声圧縮方式である。

WMA は他の主要な圧縮方式と同様、人間の感じ取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得る非可逆圧縮方式を採用している。同社によれば、WMA を用いると音楽 CD 並みの音質を保ったまま約 1/22(64kbps)まで圧縮することが可能で、音質を犠牲にすればさらに高い圧縮率を得ることもできる。

WMA 形式の音声は「Windows Media Rights Manager」と呼ばれるコンテンツ管理システム(DRM システム)を利用して暗号化することができ、音楽を有料コンテンツとして配布したり、海賊版がインターネットで配布されるのを防いだりすることができる。

● MPEG

映像データの圧縮方式の一つ。ISO により設置された専門家組織の名称がそのまま使われている。画像の中の動く部分だけを検出し保存するなどしてデータを圧縮している。MPEG-1 から MPEG-4 までの各規格が定められており、再生品質は MPEG-1 が VTR 並み、MPEG-2 がハイビジョンテレビ並みである。

● MP4

MPEG-4 形式の圧縮動画データを格納するファイル形式の一つ。ISO/IEC 14496 規格の Part 14 の項で規定されている。MP4 は Apple 社のメディア技術 QuickTime のファイル形式を元に策定された ISO/IEC 14496 Part 12 の派生フォーマットで、従来の QuickTime 形式の多くを踏襲した構造となっている。

MP4 ファイルには MPEG-4 形式の動画だけでなく MPEG-2 や MPEG-1 の動画を保存することもでき、また、AAC や MP3 などの音声、JPEG や PNG などの静止画などを多重化して格納することができるため、どのような形式のデータが入っているかは内部を解析してみないと分からない。標準的な MP4 ファイルの拡張子は「.mp4」だが、動画のみの場合は「.m4v」音声のみの場合は「.m4a」が使われることもある。携帯電話でメディアを扱う際の標準ファイル形式である 3GPP 形式、3GPP2 形式も MP4 の派生フォーマットになっており、拡張子はそれぞれ「.3gp」「.3g2」である。

● ビットレート

単位時間あたりに何ビットのデータが処理あるいは送受信されるかを表す語。単位としては「ビット毎秒」(bps : bits per second)を使うのが一般的。圧縮された映像データや音声データが 1 秒あたりどのくらいの情報量で表現されているかを表したり、通信回線が 1 秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使う。

● CPRM

DVDなどに採用されている、記録メディア向けの著作権保護技術の一つ。コンテンツのデジタルコピーをメディアに記録する際の一度だけ許容し、メディアから他の機器やメディアへのコピー(ダビング)を禁じる「コピーワンス」を実現する方式の一つ。

CPRM対応メディアには1枚ごとに固有の「メディアID」と一定の生産枚数ごとに変更される「MKB」(Media Key Block)と呼ばれる情報が記録されている。メディアにコンテンツを記録する際にはこの2つに加え録画機器の持つ「デバイスキー」を用いて暗号化を行い、記録する。他のメディアにコンテンツをコピーすると暗号化されたデータ本体を記録することはできるが、メディアIDやMKBまではコピーできないため、復号時に暗号化に使用した鍵を生成することができず、再生することができない。

かつてDVDで使われていたCSSは再生機器の鍵の管理がずさんなメーカーがあったため、すべての暗号を解除できるスクリプトが公開され大変な騒ぎになったが、CPRMではこれを防ぐための機構が用意されている。録画機器の持つデバイスキーが流出すると、新規に生産される記録メディアのMKBを変更して、そのデバイスキーを元に鍵を生成できないよう設定する。すでに生産され流通しているメディアMKBは変更できないが、新しいメディアでは流出したデバイスキーを持つ機器での記録や再生ができなくなるため、万能の暗号解除ソフトなどを作ることはできない。

CPRM対応の録画用メディアとしては、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカードなどがある。2004年4月5日から、BS/地上デジタルテレビ放送に、原則「1回だけ録画可能」(コピーワンス)なコピー制御信号が加えられ、デジタル放送番組のデジタル録画をするためには、CPRMに対応しているレコーダーと録画用メディアが必要となった。「1回だけ録画可能」なデジタル放送をデジタル録画した場合、他のデジタル機器にはダビングできず、CPRM対応プレーヤーでなければ再生できない。

● ローカルドライブ

ローカルディスクともいう。ユーザが操作しているコンピュータに、ネットワークを経由せず直結されているハードディスクのこと。ネットワーク上にある共有ディスクとローカルディスクを区別する必要がある場合によく用いられる用語である。

ネットワークを介さずに直接PC本体から読み書きできるため、高速でデータのやり取りができる。ビデオ編集は膨大なサイズのファイルに頻繁にアクセスする必要があるため、ネットワークドライブよりもローカルドライブを使うのが一般的である

出典：「IT用語辞典 e-Word」

<<http://e-words.jp/>> (2011年12月15日最終アクセス)